

まつなみだより



平成29年2月15日発行(第8号)
発行：松浪地区まちぢから協議会
<https://matunami.jimdo.com/>
<https://matsunamikomisenn.jimdo.com/>

会長挨拶

松浪地区にお住まいの皆様、新しい年を迎えて新たな気持ちでご活躍のこととお喜び申し上げます。松浪地区まちぢから協議会も今年に入って二つの重要な取り組みを進めています。

一つ目は市長によるまちぢから協議会の認定です。二月中旬に行われる地域コミュニティ審議会に向けて申請書を準備し、その審議を経て市長の認定を受け、その後、認定コミュニティに対する事業助成を受けるための事業の募集を進めたいと思っています。

二つ目は松浪コミセンの指定管理の問題です。昨年10月に指定管理者申請を行い、まちぢから協議会が引き続き平成29年4月1日から平成33年3月31日までの4年間、指定管理を担当するという内定は出ています。

松浪コミセンは地域活動の拠点であり、その役割は益々大きくなって行くものと思われまます。まちぢから協議会としても、そのために規約・規程類の整備など準備を進めています。今後とも皆様のご理解とご指導ご鞭撻を、よろしくお願い致します。



平成28年度 松浪地区の市民集会

9月10日(土)に松浪コミセンで開催されました。今年は市長を始め副市長、教育長、市役所の部課長の22名、市会議員2名及び住民約100人が参加しました。事前の住民からの質問は30問(①防災対策分野17問②生活環境分野8問③子ども育成分野3問④その他2問)で、それらに対する茅ヶ崎市からの文書回答がありました。

(1) 植松会長の開会挨拶

- ① 本日の集会の全体説明
- ② 一回目の申請ではまちぢから協議会は、市長の認定を受けられませんでした、再申請を行う予定です。

(2) 服部市長の挨拶

安定した人口構造を保もち安心して働き、結婚・出産・子育てをすることができる地域社会を作るための計画を策定しました。

(3) 全体会

- ① 消防署小和田出張所跡地の利活用については、市と住民が相談しながら決めていきます。
- ② 兵金山公園については残念な結果となりましたが、市は今後、売却の折衝を地権者にできるようなシナリオの研究をします。また、同区域内に代わりになる土地を検討しており、その情報を地域に提供して行きます。

(4) 分科会

住民と市職員が全体会から分散して①防災対策分科会②市民安全分科会③生活環境分科会④子ども育成分科会に参加しました。

(5) 市長のまとめの抜粋

- ① 今回の会議でヒントや課題を得たし、どの分科会も前向きな提案がありました。
- ② 市長の認定をできるだけ早く受けることを希望します。
- ③ 他のまちぢから協議会の情報を市が地域、住民に提供して行きます。

(6) 平松副会長の閉会挨拶

市も住民も、問題が起こっている最上流を議論する場を共有すると、もっと実りのある結果が得られると思う。



平成28年度 松浪地区防災訓練報告

11月13日(日)、晴天に恵まれ、松浪地区防災訓練が行われました。

午前8時30分の発災想定を合図に、全14自治会・自主防災会はそれぞれ安否確認訓練の実施後、松浪小学校と松浪中学校に集合して合同の防災訓練を実施しました。

★今年度は、「まず生き延びよう」をテーマに、各自主防災組織の訓練の充実と、住民個人の自助力の底上げに留意した訓練内容を企画し、例年になく内容の防災訓練となりました。

★松浪小学校では、先ず7自治会合同の安否確認訓練を行い、無線などを使い結果報告する訓練が行われました。その後、一般参加の総合防災訓練として、①煙体験、②移動式ホース格納箱放水訓練、③水消火器消火訓練が行われ、体育館では④AEDと心肺蘇生法訓練、⑤救助訓練(応急手当/三角巾~搬送訓練)が行われました。

★松浪中学校では、自主防災組織と市配備職員が合同で行う『災害対策地区防災拠点における情報受伝達訓練』が試行されました。この訓練は、情報を緊急度によって優先順位を付け、早急に対処するためのものです。初めての訓練とあって参加者にかかりの戸惑い、今後改善すべき点などが有りましたが、普段出来ない相互のコミュニケーションが持てた事など、多くの収穫も有ったと思います。

一般参加の総合防災訓練として、①起震車体験、②移動式ホース格納箱放水訓練、③水消火器消火訓練が行われたのに加えて、今回は特に④防災啓発パネル展示、⑤防災グッズの展示販売、⑥防災講演会、などの防災への啓発を目的とした催しが行われました。

防災講演では、市防災対策課の平山陽二郎氏に『死なない防災(生き残る為の備え)』の題目でお話をいただき、300人を越す参加者が熱心に静聴しました。

どちらの学校の訓練も大変な盛況ぶりで、昨年を上回る750人余りの方々にご参加いただく事が出来ました。



松浪地区賀詞交歓会

松浪地区に関わりのある方々が集まって新年の挨拶と抱負を語り合う賀詞交歓会が今年1月14日に松浪コミセンで開かれました。市役所から市長を始め各部署、市議会議員、小中学校、警察署、市社協、まちぢから協議会の各団体(自治会、PTA、学校、体育振興会、民生委員児童委員、地区社協、老人クラブ、包括支援センター、学区推進協、スポーツ少年団、環境指導員、食改)から計73名の方々の参加を頂きました。

オープニングはコンクールで金賞に輝いた汐見台小生徒のダンスの披露、その後、植松まちぢから協議会会長、服部市長、神原教育長の挨拶に続いて坂井地区社協会長の乾杯の音頭で新年を祝い、挨拶を交わす賀詞交歓会が始まりました。

この地区の持っている温かい人の思いやりや絆をこれからも大切に育てていって欲しいとの挨拶をいただき、市内の広い分野から普段顔を合わせる事の少ない方々が一堂に会して、活動内容の交流やこれからの抱負を語り合いました。



松浪コミセンのイベント

松浪コミセンは、今春に開館3年目を迎えますが、皆さまの笑顔が集うコミセンを目指し、手作り感満載のイベントを開いています。昨年は、バイオリン演奏によるニューイヤーコンサートを幕開けに、松浪コミセンご利用団体の方々にご協力いただきながら、春・秋には将棋大会、夏休みには子ども卓球開放、秋は女性コーラスのコンサート、囲碁大会を開催しました。そして11月より毎月第3日曜日に卓球開放も始めました。子ども卓球では、初心者のお子または壁打ちの手ほどきを受け、以来なみっこで一生懸命練習するお子さまの姿を見かけます。将棋大会では、負けた悔しさをばねにもっと勉強したいというお子さまもいらっしゃいました。



編集後記

A3からA4へと縮小版になりましたが、しばらくぶりに、『まつなみだより』を発行しました。(K)